

「台湾発注、中国生産」の調達モデルは今後も継続

NEC100%出資の台湾法人として1982年に設立された台湾NEC(股)は、台湾においてDVDドライブやi-mode携帯電話等の量販事業を行うほか、公官庁、金融機関、流通業等に対するシステム事業を手がけている。また近年、NECグループは台湾における調達を急速に拡大させており、台湾NECはグループの国際調達拠点(IPO:International Procurement Office)としての役割も果たしている。昨年、NECは外国企業による在台湾調達金額トップ10企業の一社として、台湾政府から「ベストIPO」にも選出されている。今回は台湾NECの垣村真一総経理に、当社の活動概要や、国際調達拠点としての台湾の魅力についてお話を伺った。

台湾NEC(股)
垣村真一総経理



DVDドライブ、i-mode携帯電話等を販売

台湾NECはNEC100%出資の台湾法人として1982年に設立しました。現在、従業員数は日本人駐在員12名を含む、合計約400名です。台湾における拠点としては、台北市内の本社、台北市郊外に位置する南港ソフトウェアパーク内のカスタマーサービス事業本部の他、全国14ヶ所に販売及びサービスの拠点を設置しています。

台湾NECの主な事業には、量販、システム、カスタマーサービス及び国際調達があります。台湾NECの収益の柱である量販事業は、1986年にスタートしました。当初はFAX、プリンター、モニター、パソコン等の販売を行っていましたが、現在の販売の主流はDVDドライブを始めとするストレージ製品、携帯電話、ビジネス交換機(PBX)、プロジェクター等になっています。

この中でi-mode携帯電話は台湾におけるi-modeサービスのスタートにあわせ、2002年6月から販売を開始しました。また昨年8月からはi-modeのカメラ付き携帯電話の販売も始めています。

流通業向けのシステム業務が拡大

当社のシステム事業はSI(システム・インテグレーション)事業本部とシステム本部から構成され、両事業部で合計約160名のスタッフがおります。この他、ハードウェアの保守を担当するカスタマーサービス事業部には130名のスタッフがおり、一日24時間、一年365日の体制でお客様にサービスを提供しています。

当社のシステムは警察署や劳工保険局等の政府関連機関をはじめ、金融機関、医療機関、製造業、流通業等の幅広いお客様にご利用いただいています。特に最近は流通業のシステムに力を入れており、コンビニエンスストア大手の統一超商(台湾セブンイレブン)や福客多(ニコマート)、ドラッグストア大手の康是美(コスメド)等にPOSシステムを導入しています。その他、SI事業本部にニューソリューション事業部を設け、台湾に進出する日系企業に対し、システム面でのソリューションを提案しています。

システム事業は人が財産です。優秀なシステムエンジニアはすぐには育ちませんので、台湾NECでは優秀な人材を採用し育成するために、様々な措置

日本企業から見た台湾

を講じています。例えば新しく IT 関連資格を取得した場合、一時金を支給するなどのインセンティブを設けており、またエンジニアが実際のプロジェクトを通じ、日本の NEC のプロジェクト管理を学ぶ機会を提供しています。システム事業では既に中核となる台湾人スタッフが育っており、ラインの管理職はこれらの台湾人スタッフが担っています。

台湾政府による「ベスト IPO」に選出

NEC グループでは「国境なき調達」をモットーに、全ての国の、全てのベンダーに公平に門戸を開く政策をとっています。近年、NEC グループは台湾における調達を急速に拡大させており、台湾 NEC はグループの国際調達拠点としての重要な役割を果たしています。

台湾における調達の中心は、ノート PC をはじめとするコンピューター関連製品で、これが調達金額の 7-8 割を占めます。しかし最近では液晶ディスプレイや携帯電話、IC など PC 以外の製品も増加しており、特に ADSL やメディアコンバーターなどインターネット関連製品の調達が急速に拡大しています。

昨年の NEC グループの台湾における調達金額は約 2,500 億円にのぼります。昨年は外国企業による在 Taiwan 調達金額トップ 10 企業 () の一社として、台湾政府から「ベスト IPO」に選出していただきました。

() アップル、デル、ゲートウェイ、HP、IBM、Intel、NEC、シーメンス、ソニー、東芝の 10 社。

「台湾発注、中国生産」の調達モデルは今後も継続

国際調達拠点としての台湾の魅力には、まず台湾企業の技術力の高さがあります。近年、台湾企業は急速に開発設計能力を向上させており、台湾企業からの調達は単純な OEM にとどまらず、台

湾企業が開発設計部分から深く関与する形の ODM(Original Design Manufacture) に発展しています。そこで台湾企業と技術の打合せを行うため、本社の技術担当者が出張ベースで頻りに台湾を訪問しており、国際調達部門だけで昨年 1 年間で述べ 3,000 泊近くの台湾出張者を受入れました。

更に台湾企業が中国の生産拠点を有効に活用できるという点も、国際調達拠点としての台湾の魅力といえます。昨今、多くの台湾企業が中国に生産拠点を設置していますが、当社が台湾企業から調達する製品の多くは、台湾企業の中国工場で生産され、出荷されます。工場管理能力やコミュニケーション能力といった点で、台湾企業は非常に有効に中国というリソースを活用できますので、これが高品質かつ価格競争力のある製品を台湾企業から調達できる背景となっています。

ただし生産拠点が中国にあるとはいえ、調達先はあくまでも台湾企業ですので、価格交渉、技術的な打合せ、発注、そして新製品や新しいベンダーの発掘などの業務は、やはり台湾で行う必要があります。そこで「台湾発注、中国生産」という調達モデルは今後も継続していくのではないのでしょうか。

調達製品のトレンド

90年前半	90年後半	2000年前半	2004年～
開拓～発展途上	成長～成熟	発展～変革	融合・創造
PC 向け部品 (電源、電気部品)	PC サーバー	モバイル (携帯電話、無線 LAN) ブロードバンド (xDSL、FTTH) インターネット 端末 (PDA、WebPAD)	モバイル 無線 LAN + VoIP IPv6 ホームゲートウェイ AVサーバー LCD PC / TV 複合デバイス 情報家電関連機器

(出所) 台湾 NEC